



# 取材していただきました

壁や窓に向かって座り、楽器を練習する生徒たち（1日、上山市仙石の県立上山明新館高で）



## 県立高久々の部活動

### 対面での練習避け……



距離を取って練習する生徒たち（1日、鶴岡市大宝寺の県立鶴岡中央高で）

県立高校で1日、部活動が再開された。

県教育委員会の方針では、平日は2日（2時間以内）、土日はいずれか1日

（3時間以内）の週3日間  
に活動は限定される。換気  
や密集を避けるなどの感染  
防止策が徹底される中で、  
生徒たちは久々の部活を楽  
しんだ。

上山明新館高校（上山市  
仙石）の吹奏楽部は1日、  
約2か月ぶりに部員が音楽  
室に集まって練習し、2、  
3年生5人が体験入部の1  
年生16人に楽器の演奏の仕  
方を教えた。通常はパート  
ごとに対面で座るが、この  
日は全員、互いの息がかか  
らないよう、壁や窓に向か  
って一列に座り演奏した。

顧問の山口久美子教諭は  
「息を使う部活なので、保  
護者の心配も大きい。楽器  
を共有しないといった対策  
を徹底したい」と話した。  
目標となる大会や発表会

は未定だが、週3日の練習  
を続けるという。

鶴岡中央高校（鶴岡市大  
宝寺）の女子バレーボール  
部では、2、3年生の部員  
11人が放課後の体育館で練  
習に汗を流した。

ネット際でのスパイクや  
ブロックの練習は、部員同  
士が近距離で対面するため  
行わず、練習中も顧問の教  
員から「2呎の距離を空け  
て」などと声が飛んだ。

3年生でキャプテンの齋  
藤花音さん（17）は「大会も  
なくなっていて、このまま引退  
なのかと思っていたけれど、  
練習する機会をもらえてうれ  
しい」と喜び、「やれる  
練習は少ないけど、後輩た  
ちに残せることを悔いの残  
らないようにやりきりたい」と前を向いた。